

YSR クリップ工法

特定天井（平成 28 年基準）適合
第三者証明機関にて衝撃試験実施

YSR クリップ 38 S

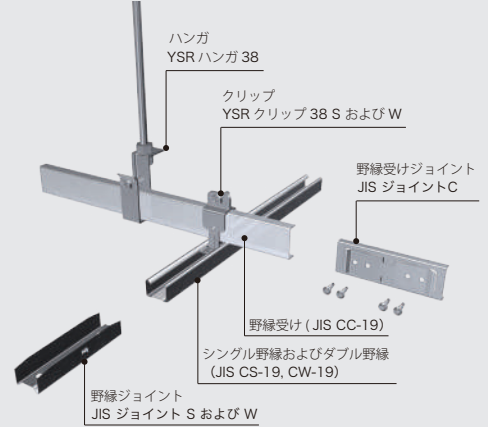


200 個 / 1 c / t

YSR クリップ 38 W



150 個 / 1 c / t



■ 実験結果概要（JTCCM 試験結果報告書 発行番号：第 16A3873 号より抜粋）※ 緊結の適否は技術基準解説に基づき弊社で確認したものです。

天井面法線方向 III

試験体	衝撃装置の最大荷重		残留変位 Dcs (mm)	緊結の適否 Dcs ≤ 5.0 mm
	下部 ΣP (N)	上部 ΣN (N)		
1	29,000	13,460	0.4	適合
2	29,460	13,440	0.4	適合
3	28,600	13,550	0.3	適合

野縁方向（正） III

試験体	衝撃装置の最大荷重		残留変位 Dcs (mm)	緊結の適否 Dcs ≤ 5.0 mm
	下部 ΣP (N)	上部 ΣN (N)		
1	4,880	1,410	3.9	適合
2	5,140	1,510	3.6	適合
3	5,130	1,450	4.5	適合

野縁方向（負） III

試験体	衝撃装置の最大荷重		残留変位 Dcs (mm)	緊結の適否 Dcs ≤ 5.0 mm
	下部 ΣP (N)	上部 ΣN (N)		
1	7,260	1,410	3.6	適合
2	5,300	1,360	4.2	適合
3	5,290	1,410	3.8	適合

野縁受け方向 III

試験体	衝撃装置の最大荷重		残留変位 Dcs (mm)	緊結の適否 Dcs ≤ 5.0 mm
	下部 ΣP (N)	上部 ΣN (N)		
1	7,130	1,400	2.6	適合
2	7,230	1,460	2.7	適合
3	6,570	1,410	2.9	適合

YSR クリップ 38 S

天井面法線方向 III

試験体	衝撃装置の最大荷重		残留変位 Dcs (mm)	緊結の適否 Dcs ≤ 5.0 mm
	下部 ΣP (N)	上部 ΣN (N)		
1	29,740	14,780	0.5	適合
2	29,590	15,010	0.5	適合
3	28,960	15,050	0.4	適合

野縁方向（正） III

試験体	衝撃装置の最大荷重		残留変位 Dcs (mm)	緊結の適否 Dcs ≤ 5.0 mm
	下部 ΣP (N)	上部 ΣN (N)		
1	5,140	1,690	1.8	適合
2	5,130	1,740	1.8	適合
3	6,760	1,700	1.7	適合

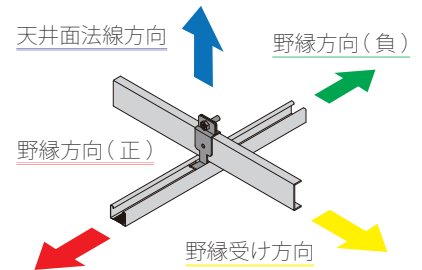
野縁方向（負） III

試験体	衝撃装置の最大荷重		残留変位 Dcs (mm)	緊結の適否 Dcs ≤ 5.0 mm
	下部 ΣP (N)	上部 ΣN (N)		
1	5,130	1,740	1.3	適合
2	4,880	1,820	1.3	適合
3	5,320	1,680	1.3	適合

野縁受け方向 III

試験体	衝撃装置の最大荷重		残留変位 Dcs (mm)	緊結の適否 Dcs ≤ 5.0 mm
	下部 ΣP (N)	上部 ΣN (N)		
1	5,750	1,510	0.7	適合
2	6,020	1,500	0.3	適合
3	5,910	1,490	0.7	適合

YSR クリップ 38 W



■ 注意事項

左記の実験結果は当社の下地材との組合せでの試験結果です。